



農業

業

第33号

なかしべつ

宮田夫妻新規就農への道



雅隆さんは京都出身で2年間板金溶接の会社で勤め、その後神奈川でイラストレーターとして、約二十年間勤めていたそうです。しかし、当時勤めていた会社が無くなること、北海道に旅行で来たとき触れた知床の大・自然や動物が好きだったこと、観光牧場での搾乳体験等がきっかけとなり、次第に酪農をやりたいと思う気持ちが大きくなつて

今回は計根別農協西竹地区に約3年間の研修期間を経て新規就農された、宮田雅隆さん、富紀子さん夫婦をご紹介します。

いきました。第一次産業系の就職の窓口で相談してみると、年齢や体格から無理でしょうと言われたがあきらめ切れず、自分で仕事を探すことになりました。

初めは虹別の牧場に従業員として約2ヶ月間勤めました。その後は上標津の一牧場に約半年間。そして、西竹の笠井牧場で約2年間の研修期間を経て、今年6月経営継承で就農したところです。現在、飼はMRセンターからの供給で、経産牛17頭、全34頭でスタートし、12月には50頭を予定しています。

ちなみに前職の仕事で培った技術を活かして、一月からは計根別農協広報紙の表紙のイラストを書かれています。

宮田さんご夫婦にはお忙しい中、インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。

宮田さんの前職はイラストレーターとお聞きしています。地区としましても心より歓迎しているところです。

宮田さんの前職はイラストレーターとお聞きしています。JA計根別の広報誌の表紙を今年1月よりデザインされており、とても素敵な才能を持つ方が、まさかの農業への転職ということに私も驚いております。J.A.計根別の広報誌の表紙を今年1月よりデザインされており、とても素敵な才能を持つ方が、まさかの農業への転職ということに私も驚いております。西竹地区においては、先代の酪農を経営されていた方が熱き心で営農され、この先いつまでも使えるように施設や草地を維持されていたことがあります。そんな中ではあります、私たち西竹地区においては、先代の酪農を経営されていた方が熱き心で営農され、この先いつまでも使えるように施設や草地を維持されていたことがあります。宮田夫妻のように広い北海道の大地に夢や希望を抱いて、新規参入を志す人があります。ここに増えています。せっかく掴んだチャンスです。私たち周りの意見も参考にしながら、自分自身の考えを大切に共にがんばっていきましょう。

独立してみて感じたことは、これから始まる工事等、まだ体制が整っていないため、未



広報委員長 和泉 光広



地域からのエール

西竹地区
農業委員

長谷川 孝二

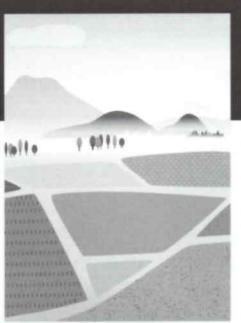
夫の決めた道に最初は反対したようですが、持ち前の明るさを武器に、今では2人で酪農経営を楽しんでいるように感じました。

農地パトロール 実施のお知らせ

「農地法第30条」の規定による農地の利用状況調査を町内全域で次の日程により行ないますのでご理解ください。

期 間 9月中旬～10月中旬

調査員 農業委員及び事務局員



中標津町賃借料情報

農地法により、地域における賃借料の目安になるものを農業委員会が毎年提供することとなっております。

今回の内容につきましては、平成二十九年月から十一月までに農地法及び農業経営基盤強化促進法に基づき締結(公示)された賃貸借における賃借料水準(10a当たり)を一区域に区分し、最高額、最低額、平均額を算出しています。



地域区分	平均額	最高額	最低額	データ数
中標津	3,400円	4,900円	1,200円	184
計根別	2,400円	3,800円	1,000円	58
参考 (中標津町平均)	3,100円	4,900円	1,000円	

ご注意!ソーラーパネルの設置など、農地転用について

農地の転用は、基本的に農業用施設や市街地に設置することが難しい施設等、法に定められた場合と、農地に復元し再度農業上の利用を行なうことが確約された場合にのみ許可されます。近年話題に上がることが多い太陽光発電施設は、農業用施設の付帯施設で自家消費を目的とした場合などを除き、原則許可是できないこととなっています。これを知らず無断で農地を転用した場合は、工事の中止や現状回復等

の命令、3年以下の懲役または300万円以下の罰金(法人は1億円以下)が適用されることもあります。売電目的の太陽光発電施設を設置する場合など、何かしらの施設の設置を検討される場合は、対象となる土地が農地に該当しないことを十分に確認する必要があります。農地は登記簿上とが必要です。農地は登記簿上のことになると、地区の農業委員会は、農業委員会事務局でご確認ください。

平成30年8月24日に東北6県と北海道の農業会議主催によります、東北・北海道農業活性化フォーラムが札幌市白石区の札幌コンベンションセンターで、東北・北海道の各地から農業委員・農地利用最適化推進委員及び農業委員会関係者約1200名参加のもと盛大に開催されました。北大農業委員会と北海道きたみらい農業委員会による基調講演の他、岩手県岩手町及び宮城県仙台市の農業委員会と北海道きたみらい農業委員会による事例発表が行われ、最後にフォーラムアピールを宣言し閉幕しました。



本田会長、笠原会長代理、吉川事務局長が参加

【東北・北海道農業活性化フォーラム】 参加報告

4月1日付人事異動により、農業委員会事務局が新しい体制でスタートしました。 よろしくお願い致します。

事務局長 一 吉川 裕二

庶務係 一 総務及び農業者年金・後継者対策
係長 桐島 秀一 係 本田 文子
農地係 一 農地法に基づく諸手続・審査・認可業務
係長 葛西 利光

全国農業新聞



発行日：月4回 金曜日発行

形態：B3版 10~14頁縦

購読料：月 700円

(送料、税込み)

全国農業新聞は経営と暮らしに役立つ農業総合専門紙です。
お申し込みは、お近くの農業委員、農業委員会へどうぞ。



第三十九回 家族経営協定調印式開催

第三十九回家族経営協定調印式が四月二十二日、中標津町役場301会議室を会場に開催されました。

当口は、平成二十九年中に後継者へ経営移譲をされました十組の内六組のご家族が出席し、主催者である農業委員会本田会長の挨拶、来賓の西村町長、農業改良普及センター吉田北根室支所長の祝辞につづき、担当地区農業委員立会のもと、調印を行いました。調印終了後、中標津町農協高橋組合長より激励の言葉を受け、最後に協定者を代表して遠藤正幸氏が謝辞を述べました。また、長年経営を続けてこられたご両親に対し、そのご苦労に対する労いの意を込めて、感謝状と記念品が贈呈されました。

経営を引き継いだ後継者のみなさんは、責任の重さをあらためて感じ、決意を新たにしていました。農業委員会主催の家族経営協定調印式は、担い手の育成及び経営者の若返りを図るため、昭和六十一年の開催から今年で三十二年目を迎え、今までに275組のご家族が調印されています。



瀧場家



奥田家



遠藤家・小田家



井上家



佐々木家(4/27自宅にて)



吉川家



名越家

今年は町内の農業後継者のもとに、全国各地よりたくさんのお嫁さんが来られました。農家の仲間入りをした新婚のみなさんをご紹介させていただきます。

酪農家に嫁いで①

武佐地区 萱岡 絵里子

りしていました。また、実家で
は犬や猫、インコ、うさぎを最
近まで飼っていました。夫の
「家の牛舎にも猫がいるよ」と
いう話に誘われ見に行くうち
に、いつの間にか牛舎のお仕
事を手伝っていました。最初
は慣れない土地での生活に精
神面から体調を崩すこともあります
りましたが、夫と両親のサ



H30.4.20入籍

酪農家に嫁いで②

私は平成30年4月に大阪から嫁いできました。2年前の夏に自宅でたまたま見ていた情報誌で中標津町の農業青年との秋季交流会の記事を見つけたのがきっかけでした。人々、生き物が大好きでいつ

温かい家庭を築けるよう、がんばって行きたいです。

ポートで早くに復帰することができました。今では楽しく牛舎に行って、私のできる範囲のお仕事をさせて頂いています。嫁いで日も浅く、仕事もまだまだ未熟ですが、これからもつとめることを増やして、夫と家族みんなをサポートできるよう、また、笑いある

かは自然豊かな所で暮らしたい
という夢があり、「道東に行つ
てみたい」「酪農体験してみた
い」と、興味が湧いて応募しま
した。実際に中標津町に訪れ
た時に、広大な牧草地、たく
さんの牛たち、まっすぐな道
など、北海道ならではの素晴らしい景色を目にし、空港に
着いて間もないのに「ここには
また来たい!」という思いで
いっぱいになつた事を鮮明に
覚えています。交流会がきっ
かけで「縁があり、旦那さん
と出会い、今年4月に入籍。
私も晴れて中標津町民となつ
たのですが、運転免許を持
ていなかつたので、まずは自動
車学校に通う所からスタート
しました。普段は家族(旦那



H30.4.25入籍

酪農家に嫁いで③

のことでした。ちょうど
デントコーンの収穫時
期でもあったので、初め
て見る巨大なトラク
ター（ハーベスター）に乗
せてもらつたり、牛舎の
見学をさせて頂いたり
ホールの大きさに驚い

西竹地区 武田 玲 中標津での新生活を始めて、4ヶ月が経ちました。この町代の友人がこちらへ嫁いでいたからです。地方や海外へ移住した友人に会いに行くといふような旅が好きで、北海道は札幌、函館、小樽しか行ったことは無かった私が、友人に会うため初めて中標津を訪れたのは、2013年の10月

さんの両親と祖母)の「ご飯支度」をしたり、家庭菜園を手伝つたり、牧草の草刈のシーズンに入るとお弁当や足りない部品を届ける係をしています。牛舎の仕事については、子牛の哺乳など少しずつ覚えていく予定です。まだまだ知らない事、慣れない事など多々あります。ですが、それ以上に新しい出会いや新しい発見を楽しみにしています。

こ数年食料の生産者側、農業にも興味が沸いていたこともあり、ためらいことはあります。せんでした。

まだまだお手伝いとも言えなレベルですし、知らないことだらけではありますが、その分毎日得るものも多いです。少しづつでも着実に身に付けてながら、かわいくて面白い牛たちと、武田家の皆様と、穏やかに暮らしていきたいです。



H30.4.2入籍
武田翔平くん・玲さん

農業後継者対策協議会から

さんの両親と祖母)の「飯支度」をしたり、家庭菜園を手伝つたり、牧草の草刈のシ

たり、牛を間近で見たり、広くて青い空と緑を眺めては、すこーい！しか言葉が出ない程、当時は見る物全てが切れ



H30.3.20入籍
保落地区 佐伯佑一くん・祐美さんご家族



H30.5.16入籍
保落地区 小出信彦くん・明日香さん



H30.3.12入籍
当幌地区 吉成雅耶くん・真奈さん

応援メツセージ

JJA中標津生活アドバイザー

杉本 保子(保落地区)

酪農家に嫁いで来られたみなさんは、慣れない環境で毎日がんばつておられることがあります。そういう私も大阪からこの地に嫁いで二十三年が過ぎました。酪農のことなど全く知らなかつた私が、なんとも今日までやってこられたのも、夫と家族のおかげです。確かに酪農という仕事ではありません。けれども、夫と共に牛舎に行く時に見る朝日に感動し、大自然に心を癒されることも多々あります。いつかみなさんも、自然の中で家族と働き、生活できることの喜びを感じられるかもしれません。そしてできることなら外にもどんどん出て行き、この町のこと、仕事のこと、色々なことを知つ

JJA中標津生活アドバイザー

花川 環(協和地区)

この度はご結婚おめでとうございます。今年は農業後継者の結婚話がたくさん聞こえてくるのでとても嬉しく思っています。内地(本州)から嫁がれた方は中標津に慣れましたか?この夏は信じられないほど涼しく過ごせたのではないか?この夏は信じられないでしょか。

町の主催で行われる「農業

あります。もしこれから先、何か困ったことが出でてきた時

には、私達アドバイザーに話してください。もちろん嬉しいことや楽しい話、何でもOKです!一緒にお茶でも飲みましょう。最後にご主人のみ

なさんにお願いです。あなた

の奥さんは、ひとりで敵陣に

乗り込んできたようなもので

す。どうぞどんな時も奥さん

の味方であり、話にはいつも

耳を傾け、そしていつまでも

大切にしてあげてくださいね。

青年との交流会」が年に2回あります。私も内地出身ということで、体験談を話しに何度かお邪魔させて頂いています。ですが、女性陣からの質問に「実家には年に何回帰れますか?お休みは貰えますか?」と訊かれることがよくあります。

かれることがよくあります。既に受付を終了した行事もありますが、詳しい開催内容・日程等については決まり次第、隨時広報誌やホームページ等に掲載しそ案内します。多数の参加をお待ちしています。

と思いますが、その家ごとの考え方もあるのでトンボ帰りの人や年に一度も叶わない人も残念ながらいます。初めのうちは特に頑張ります。初めて気持ちがいっぱいになります。中標津での息抜きも覚えられるといですね。いろいろな集いに参加して知り合いを増やしあ話をしましょう。そして、ちょっと疲れちゃつたり困つたことがあるたら、私たちアドバイザーにも声をかけてください。一緒に考えるくらいしかできませんが。

そして、少しずつでも中標津を好きになつていってくれることを願っています。末永くお幸せに…。

各種行事のご案内

今年度も農業後継者対策の一環として、各種行事の開催を計画しています。

あります。既に受付を終了した行事もありますが、詳しい開催内容・日程等については決まり次第、随时広報誌やホームページ等に掲載しそ案内します。多数の参加をお待ちしています。

ホームページは
【中標津町後継者】で検索…

(冬季交流会)

とき：3月8日(金)

～10日(日)

とき：3月中旬開催予定
ところ：町内

(ラレッショニーズの集い)

※対象となる皆さまには2月上旬頃に別途ご案内します。



農業者年金に加入しましょう!

あなたの老後、生活への備えは十分ですか？

老後の備えは 国民年金 + 農業者年金 が基本です。

年金は家族・一人・ひとりについて準備することが大切です。

「管内の新農業者年金被保険者数・新規加入者数」 平成30年3月末時点

市町村	被保険者数			新規加入者数					
	合計	男性	女性	15~24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
中標津町	348	219	129	181	11	14	27	27	13
別海町	658	431	227	317	78	66	58	26	35
標津町	174	94	80	150	3	2	8	4	6
羅臼町	7	4	3	2	3	0	0	0	0
根室市	78	48	30	40	5	5	4	2	4

運用を図るため、本年度も引き続き加入推進活動にご理解とご協力をお願いいたします。



六月十一日、役場302会議室において、中標津町農業者年金協議会代議員総会を開催し、本年度の事業計画並びに収支予算等について審議されました。今年の会費については、昨年と同額の一戸当たり一千二百円と決定しています。

また、十一月頃には代議員の研修会が別海町で予定されていますので、多数の参加をお願いします。

なお、農業者年金について、地区で学習会等の開催希望がございましたら、事務局までご相談ください。

皆様方におかれましては、農業者年金制度の安定的な

農業者年金協議会
代議員総会開催

経営移譲年金の受給について

Q 現在、農業者年金の経営移譲年金を受給していますが、いろいろな制約があると聞きましたが？

A はい、経営移譲年金は担い手確保と同時に農業者の若返りと規模の拡大を政策としている年金で、その分通常の老齢年金より高い年金額が支給されています。したがって、その条件から外れると、支給停止になるだけではなく、最悪の場合さかのぼって返還が求められる仕組みになっています。

年金が支給停止になる主な理由は次のような場合です

- 1 農業経営を再開したとき
2 特定処分対象農地等(使用貸借した農地等)の返還を受けたとき
3 農地所有適格法人の構成員(組合員、社員または株主)となったとき
4 農地の処分等、正しい経営移譲がされていなかつたことが判明したとき



毎年の現況届は経営移譲した内容に変更がない旨を自ら申告し、確認した上で年金を受給しているものですから、十分気をつける必要があります。詳しくは最寄りの農協、農業委員会にご相談ください。

農業者年金の特徴

1 農業に従事されている方は広く加入できます

60歳未満の国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く。)であって年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方やパートなどで農業に従事されている方も加入できます。

家族一人ひとりの年金を! 今、女性の新規加入者が増えています



2 保険料は自分で選べ、いつでも見直しできます

保険料を自由に決められ(月額2万~6万7千円の間で千円単位)、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。



3 税制面で大きな優遇措置があります

- 支払った保険料は、家族の分も含めて全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります(支払った保険料の15%~30%程度が節税)。
- 農業者年金基金が保険料を運用して得られる収益は非課税です。
- 将来受け取る農業者年金には、公的年金等控除が適用されます。

つまり生涯を通じて税制上の優遇措置があります



まだまだあります。こんな特長▼

4 少子高齢時代に強い年金。年金資産は安全性を重視して運用しています

自ら積み立てた保険料とその運用益(付利)により将来受け取る年金額が決まる「積立方式(確定拠出型)」の年金です。少子高齢化が進んでも制度の安定性は損なわれません。

5 終身年金です。80歳までにお亡くなりになった場合、死亡一時金があります

農業者老齢年金は、原則65歳から生涯受け取ることができます。仮に80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額を、ご遺族に死亡一時金としてお支払いします。

6 一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助があります

認定農業者で青色申告をしている方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助(月額最高1万円、通算すると最大で216万円)があります。

この国庫補助額に見合う年金は、経営継承など一定の要件を満たせば特例付加年金として受給できます。また、経営継承の時期についての年齢制限はなく、事情に応じて受給の時期を決められます。

詳しくは…

農業者年金基金

検索

<http://www.nounen.go.jp>



農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人農業者年金基金

TEL : 03-3502-3199 (相談員) TEL : 03-3502-3942 (企画調整室)



地区の話題から

「保落盆踊り大会」

—保落地 農業委員 笠原 康博

今年も保落地地区の盆踊り大会が、8月8日に保落体育館で開催されました。

以前は外にやぐらを立てて行つていましたが、天候に左右されることが多く、今は体育館での開催がすっかり定着しております。準備もしやすく、虫に刺される心配も無いことから、屋根の下は落ちつくと、地区的皆さんからの評判は上々です。



楽しい盆踊り①



楽しい盆踊り②



早い競争-大人の部



豪華景品、毎年恒例のbingoゲーム



ちびっ子に大人気の宝引き。何が当たるかな

また、大人気のゲームではbingoゲームや早飲み、早食い競争が恒例となっています。この時期は番草の収穫も段落して、皆さんは仕事の苦労話等に花を咲かせ、飲み放題のビールやジュース、ご馳走に舌鼓を打ちながら、お盆前のこのひと時をのんびりと楽しんで過ごしております。時折、久々に帰郷した懐かしい顔に出会うこともあります。この盆踊り大会はこれから先も地域のかけがえの無い行事として続いていることでしょう。

七月の豪雨に被災された全国の皆さんにお見舞い申し上げます。中標津町では被害は無かったものの、天候不順で牧草の収穫は遅れ、今後は乳量の低下や病気なども心配されますが、頑張っていきましょう。天災だけはいつ来るか分からないのですが、「備えあれば憂いなし」準備は万全にしておきましょう。今年も残り4ヶ月、時の経つのが早いこと。身にしみて感じています。

(和泉)

発行元

中標津町農業委員会

中標津町丸山2丁目22番地
TEL(0153)73-3111
FAX(0153)73-5333

ホームページ



URL http://www.nakashibetsu.jp/nougyou_inikai/



広報委員長	和泉 光広
副委員長	赤波江信二
委 員 員	武田 健治
員 員	長谷川 孝二
笠原 康博	

編集後記